

令和8年度 全国学力・学習状況調査 自校採点から (概要)

【 国語科 】

話すこと聞くことの領域については、概ね、思考判断の力を育てているとすることができですが、必要な条件を組み入れて考えることに難しさを感じていることがわかりました。

書くことの領域については、やはり、目的に応じる条件を考えることに難しさを感じていることがわかりました。

読むことの領域については、初見の長文を読み、文章の特徴を捉えることはできているが、筆者の考えを読み取り回答することに難しさを感じていることがわかりました。

【 算数科 】

図形の領域については、基本的な内容は理解しているものの、条件をもとに判断し、考えを記述することに難しさを感じていることがわかりました。

数と計算の領域については、知識・技能に関しては身に付けているものの、単位数や基準となる量と比較量等の関係からその変化を考えることに難しさを感じていることがわかりました。

また、十進位取り法の考え方を理解しているものの、分数の考え方そのものに難しさを感じていることがわかりました。

今年度の授業改革

【研修テーマ】：『わかった、できた』につなぐ「個別最適な学び」と「協働的な学び」  
研修の柱

- ① 安心できる学級集団・関係づくり
- ② 教科書の活用・シンキングサイクル

I 学習に向き合える学級となるために、「児童理解」「自己有用感の醸成」の手法を教員は学びます。

II 児童は、学習の仕方をなぞらえることで学習は終わり、自分で考えることができ、表現することまでできていなかったと反省します。

- (1) 教科書を児童自身で活用する力とシンキングサイクルで考える力を育成すること、考えを言語化することを軸に、学習指導を構成します。
- (2) 単元テストだけでなく、目標とする児童の姿からも評価します。